

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成22年3月11日(2010.3.11)

【公開番号】特開2008-191865(P2008-191865A)
 【公開日】平成20年8月21日(2008.8.21)
 【年通号数】公開・登録公報2008-033
 【出願番号】特願2007-24545(P2007-24545)
 【国際特許分類】

G 0 6 Q 50/00 (2006.01)

G 0 6 Q 10/00 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/60 1 5 0

G 0 6 F 17/60 1 7 4

【手続補正書】

【提出日】平成22年1月26日(2010.1.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

対象者が検出された観測エリアの識別情報、当該対象者の識別情報、当該検出時刻を取得する取得手段と、

前記取得手段で取得した検出時刻及び観測エリアの識別情報に基づく観測エリアにおける対象者の検出頻度から、複数の観測エリアの集合である全観測エリアにおける対象者の偏り度合いを演算する演算手段と、

前記演算手段で演算された対象者の偏り度合いに基づいて、対象者の移動状態を識別する識別手段と、

前記識別手段により識別された対象者の移動状態を示す情報を出力する出力手段と、
 を備えたことを特徴とする行動分析装置。

【請求項 2】

前記識別手段は、複数の対象者の移動状態を分類して、当該複数の対象者からなる集団の移動状態を識別することを特徴とする請求項 1 に記載の行動分析装置。

【請求項 3】

前記識別手段は、前記演算手段で演算された対象者の偏り度合いから、一の観測エリアに静止して居る一の対象者と、他の観測エリアから前記一の観測エリアに移動して前記一の対象者と所定時間以上存した他の対象者とを識別することを特徴とする請求項 1 に記載の行動分析装置。

【請求項 4】

前記出力手段は、前記識別手段により識別された一の対象者と他の対象者とを、他の対象者から一の対象者へ行動方向を表す態様で可視化して出力することを特徴とする請求項 3 に記載の行動分析装置。

【請求項 5】

前記識別手段は、前記演算手段で演算された対象者の偏り度合いから、特定の観測エリアに所定時間以上静止して居る対象者数を識別することを特徴とする請求項 1 に記載の行動分析装置。

【請求項 6】

前記識別手段は、前記演算手段で演算された対象者の偏り度合いから、一の観測エリアに静止して居る複数の対象者を識別することを特徴とする請求項1に記載の行動分析装置。

【請求項7】

前記出力手段は、前記識別手段により識別された複数の対象者間の関連付けを表す態様で可視化して出力することを特徴とする請求項6に記載の行動分析装置。

【請求項8】

前記識別手段は、対象者の属性を保持する情報保持手段を参照して、対象者の属性を峻別して対象者の移動状態を識別することを特徴とする請求項1乃至請求項7のいずれか1項に記載の行動分析装置。

【請求項9】

対象者が検出された観測エリアの識別情報、当該対象者の識別情報、当該検出時刻を取得する取得手段と、

前記取得手段で取得した検出時刻及び観測エリアの識別情報に基づく観測エリアにおける対象者の検出頻度から、複数の観測エリアの集合である全観測エリアにおける対象者の偏り度合いを演算する演算手段と、

前記演算手段で演算された対象者の偏り度合いに基づいて、対象者の移動状態を識別する識別手段と、

前記識別手段により識別された対象者の移動状態を示す情報を出力する出力手段と、
をコンピュータに実現することを特徴とする行動分析プログラム。

【請求項10】

観測エリアに設置され且つ対象者が携帯する記憶媒体から非接触方式で当該対象者の識別情報を読取るセンサと、

前記センサによる検出に基づいて、対象者が検出された観測エリアの識別情報、当該対象者の識別情報、当該検出時刻を取得する取得手段と、

前記取得手段で取得した検出時刻及び観測エリアの識別情報に基づく観測エリアにおける対象者の検出頻度から、複数の観測エリアの集合である全観測エリアにおける対象者の偏り度合いを演算する演算手段と、

前記演算手段で演算された対象者の偏り度合いに基づいて、対象者の移動状態を識別する識別手段と、

前記識別手段により識別された対象者の移動状態を示す情報を出力する出力手段と、
を備えたことを特徴とする行動分析システム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

請求項1に係る行動分析装置は、対象者が検出された観測エリアの識別情報、当該対象者の識別情報、当該検出時刻を取得する取得手段と、前記取得手段で取得した検出時刻及び観測エリアの識別情報に基づく観測エリアにおける対象者の検出頻度から、複数の観測エリアの集合である全観測エリアにおける対象者の偏り度合いを演算する演算手段と、前記演算手段で演算された対象者の偏り度合いに基づいて、対象者の移動状態を識別する識別手段と、前記識別手段により識別された対象者の移動状態を示す情報を出力する出力手段と、を備えたことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００８】

請求項２に係る行動分析装置は、請求項１の行動分析装置において、前記識別手段は、複数の対象者の移動状態を分類して、当該複数の対象者からなる集団の移動状態を識別することを特徴とする。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００９

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００９】

請求項３に係る行動分析装置は、請求項１の行動分析装置において、前記識別手段は、前記演算手段で演算された対象者の偏り度合いから、一の観測エリアに静止して居る一の対象者と、他の観測エリアから前記一の観測エリアに移動して前記一の対象者と所定時間以上存した他の対象者とを識別することを特徴とする。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１０

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１０】

請求項４に係る行動分析装置は、請求項３の行動分析装置において、前記出力手段は、前記識別手段により識別された一の対象者と他の対象者とを、他の対象者から一の対象者へ行動方向を表す態様で可視化して出力することを特徴とする。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１１】

請求項５に係る行動分析装置は、請求項１の行動分析装置において、前記識別手段は、前記演算手段で演算された対象者の偏り度合いから、特定の観測エリアに所定時間以上静止して居る対象者数を識別することを特徴とする。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１２

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１２】

請求項６に係る行動分析装置は、請求項１の行動分析装置において、前記識別手段は、前記演算手段で演算された対象者の偏り度合いから、一の観測エリアに静止して居る複数の対象者を識別することを特徴とする。

【手続補正８】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】００１３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【００１３】

請求項７に係る行動分析装置は、請求項６の行動分析装置において、前記出力手段は、前記識別手段により識別された複数の対象者間の関連付けを表す態様で可視化して出力することを特徴とする。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

請求項 8 に係る行動分析装置は、請求項 1 乃至請求項 7 のいずれか 1 項の行動分析装置において、前記識別手段は、対象者の属性を保持する情報保持手段を参照して、対象者の属性を峻別して対象者の移動状態を識別することを特徴とする。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0015】

請求項 9 に係る行動分析プログラムは、対象者が検出された観測エリアの識別情報、当該対象者の識別情報、当該検出時刻を取得する取得手段と、前記取得手段で取得した検出時刻及び観測エリアの識別情報に基づく観測エリアにおける対象者の検出頻度から、複数の観測エリアの集合である全観測エリアにおける対象者の偏り度合いを演算する演算手段と、前記演算手段で演算された対象者の偏り度合いに基づいて、対象者の移動状態を識別する識別手段と、前記識別手段により識別された対象者の移動状態を示す情報を出力する出力手段と、をコンピュータに実現することを特徴とする。

【手続補正 11】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

請求項 10 に係る行動分析システムは、観測エリアに設置され且つ対象者が携帯する記憶媒体から非接触方式で当該対象者の識別情報を読取るセンサと、前記センサによる検出に基づいて、対象者が検出された観測エリアの識別情報、当該対象者の識別情報、当該検出時刻を取得する取得手段と、前記取得手段で取得した検出時刻及び観測エリアの識別情報に基づく観測エリアにおける対象者の検出頻度から、複数の観測エリアの集合である全観測エリアにおける対象者の偏り度合いを演算する演算手段と、前記演算手段で演算された対象者の偏り度合いに基づいて、対象者の移動状態を識別する識別手段と、前記識別手段により識別された対象者の移動状態を示す情報を出力する出力手段と、を備えたことを特徴とする。